

県内百貨店・主要小売店9月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	▲20.8		▲13.8
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	0.9	2.0	▲6.3
Vドラッグ	▲4.7	▲9.0	▲5.4
ホームセンターバロー	▲13.4	▲14.9	▲5.5
セリア	4.9	▲2.3	▲2.5
ヒマラヤ	▲7.3	▲4.7	▲4.7

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品、ひだ薬局、サンファーマシーの3社の合計。ホームセンターバローはダイユーエイト、ホームセンターバロー、タイムの3社の合計



県内の百貨店・主要小売店の9月売上高実績(速報値)は、全店の売上高がスーパーマーケットのバローと100円ショップのセリアを除いて前年割れとなった。昨年9月は消費増税前の駆け込み需要で各社とも売り上げが一時的に増えたため、反動減による売上高減少が目立った。バローは、生鮮の売れ行きが好調で、既存店の売上高もプラスを維持した。ドラッグストアのVドラッグやホーム

9月の百貨店・主要小売店売上高 バローとセリアは増

センターバローは衛生用品や家庭での巣ごもり向け商品が引き続き好調で、反動減を除けば堅調に推移している。セリアは、新型コロナウイルスの影響で衛生用品や巣ごもり需要向けの商品が好調。手作りマスクといった商品が人気となっている。ヒマラヤは、駆け込み需要の反動減で売上高が下がったものの、6月以降の売り上げはキャンペーン用品を中心に堅調に推移している。百貨店の岐阜高島屋は、昨年9月の売上高が17・7%増えた反動で、大幅減少となった。